

ドライブシーズン到来! 気になる ガレージハウスとは?

クルマ好きなら、きっと気になるガレージハウス。
愛車を大切に収めるだけでなく、趣味のスペースとしても使えるガレージは、
住まう方のライフスタイルを豊かにする楽しさの宝庫です。
今回は、そんなガレージハウスに注目してみました。

2
Garage house



単なる車庫ではなく、
マルチに使える。

もし敷地に余裕があれば、「別棟タイプ」を検討したいところ。ガレージのデザインや建材のチョイス、内部装飾によって、好みのスタイルに仕上げましょう。生活空間と切り離されていることのメリットを生かし、愛車の手入れを楽しむ以外にさまざまな使い方ができるのも、別棟型ガレージだからこそ。たとえば趣味の工作や楽器の練習場所として、本格的な写真スタジオとして、さらには家族みんなのバーベキュースペースとして、いくつもの役を難なくこなしてくれます。

3
Garage house



ガレージのサイズは
できるだけ広めに。

ガレージの基本は、クルマをスムーズに出し入れできること。できれば、クルマのドアも片側だけでなく、左右ともムリなく開けられるゆとりを確保したいものです。さらに、メンテナンスなどの作業スペースにも余裕が欲しいところ。タイヤや工具、集めたコレクションのほか、冬場の除雪道具など収納しなければならない物も多いだけに、ガレージのサイズはできるだけ広めにとることがポイントです。

4
Garage house



床の造り方も
しっかりチェック。

「天候を気にせず洗車やワックスがけをしたい」という考えでガレージを検討する方もいるでしょう。その場合、大切なのは、水が外へ流れるように床に傾斜をつけることです。また、床の素材や仕上げは、コンクリートの上に厚い塗装膜を塗るのが一般的ですが、これはコンクリートの粉が舞うのを防ぐ役目があるとともに、油污れを防止する目的もあります。床材としてタイルやレンガ、石などを使う際は、収める車両の重量に耐えられるよう、事前に耐荷重値などを確認しておきましょう。

5
Garage house



換気扇の設置も
忘れずに。

快適なガレージに忘れてはならないのが換気扇です。所有しているクルマがビンテージカーであれば、走り出す前の暖機運転が欠かせません。なるべく大きめのファンを選び、換気効率を高めることで、ガレージの中の空気をきれいに保つだけでなく、愛車への埃の堆積を防ぐことができます。

「ガレージをつくるには土地が狭くて…」という方も、あきらめる必要はありません。「ビルトインタイプ」なら、ガレージ、エントランス、収納などを機能的に集約したり、リビングから愛車を眺められるショーケースのようにすることも可能です。1階の大きなスペースを車庫が占めるかたちになりますが、ふつうの家とは違ったおしゃれな空間を演出できます。

1
Garage house



ふつうの家とは違う、
おしゃれな空間を演出。

ガレージハウスとは、
読んで字のごとく「ガ
レージ」のある「家」のこ
とです。使い方によって
さまざまなタイプがあ
りますが、大別すると、
住居部分の一部をガレ
ージにする「ビルトイン
タイプ」と、ガレージを母
屋とは別の建物にする
「別棟タイプ」に分けら
れます。



別棟タイプ



ビルトインタイプ



GARAGE HOUSE